

## 10.17 部会結果概要

## 平成 30 年 10 月 17 日 創業促進部会 活動結果

### ① 部会における課題について

中小企業振興計画 P16\_(2)②にある「専門的な知識・技術を持つ高齢者等の創業を支援します」という点をどうてこ入れすべきか協議した。

#### －意見－

- ・ 高齢者への情報発信として「シルバー人材センター」との協力が望ましい
- ・ ただし、創業促進は同センターの活動と逆行するため注意が必要である
- ・ 中小企業の人手不足という観点もあり、高齢者にはリスクのある創業よりも熟練した技術者として企業に雇用されるという手段が有効という考え方もある
- ・ 計画を忠実に実行することも大事だが、現在の経済情勢にあった施策を実行していくべきである

#### －結論－

高専 C-base との連携、シルバー人材センターへの情報提供を通じ、市の創業サポート事業を高齢者へ周知することを目指してはどうか

### ② 現在実施中であるが、改善が必要な事業等について

#### －意見・結論－

- ・ 現在よりも、創業支援を手厚く行うことを検討すべき
- ・ 国・道の支援策や、各種中小企業支援機関の利用促進を図れるよう、情報周知に努めるべきである。（各関係機関との連携強化）

### ③ その他、現在の課題や次期審議会への申し送り事項について

#### －意見・結論－

創業は 1 から事業を起こし手続き等で非常に労力がかかることもあることから、現在社会問題となっている「中小企業の事業承継」とうまく関連付けたりマッチングできないものか、可能性を探ること

※第 4 期審議会以降、人材育成・事業承継部会との連携等を検討

## ① 部会における課題について

中小企業振興計画 P17(2)にある「若者の職業体験支援(インターンシップ)」について、どのように実現させていくか協議を行った。

### －事務局－

- ・今年度、企業と求職者をつなげるマッチングサイトを構築しており、その中に企業のインターンシップ受入可否について機能を追加する予定である

### －意見－

- ・学校との連携が必須(※マッチングサイトに学校の登録可能)
- ・ハローワークとの連携が必要
- ・計画を忠実に実行することも大事だが、現在の経済情勢にあった施策を実行していくべきである

## ② 「事業承継の円滑化」について

### －事務局－

- ・これまで事業承継に係る市の事業はないこともあり、部会では事業承継について詳しい議論は行っていない。H30.12に苫小牧商工会議所、H31.2には北海道事業引き継ぎセンターでセミナーを予定している。今後は、市も専門機関への情報提供などの支援を考える必要がある

### －意見－

- ・事業承継は、会社規模によって隔たりがあるので、会社規模別に何らかの支援が必要である

## 平成 30 年 10 月 17 日 販路拡大・需要開拓部会 活動結果

### ① 販路拡大・マーケティングについて

中小企業振興計画 P19(2)にある「商品の開発等に関する支援(マーケティング調査等に要する費用補助等)」について協議を行った。

#### ―意見・結論―

- ・マーケティングに係る補助より先に、マーケティングの重要性を周知することから始めるべきではないか
- ・北海道国際流通機構の取り組みは、マーケティング調査に含まれると認識している

### ② C - b a s e について

#### ―意見・結論―

- ・中小企業における技術系の相談があれば、C - b a s e への相談が望ましい
- ・C - b a s e も新商品の開発に関係する話もあるので、中小企業振興計画に絡めていく必要がある

### ③ 10 月 10 日販路拡大セミナーについて

#### ―意見・結論―

- ・来場者は 61 名であり、人数は集められたという評価
- ・当日のアンケートを集計し、審議会または部会で紹介をする必要がある
- ・今後は、セミナーに継続性を持たせる工夫や講師との面談の場所と時間の確保、来場者の名刺を受け取る工夫なども考える必要がある

### ④ 各種補助金の利活用推進について

#### ―意見・結論―

- ・小規模事業者には国が実施する補助金（IT補助金等）は使いにくいので、市で使いやすい補助金を設定して見ては
- ・国・道補助金で「要件が厳しい」「報告が煩雑」という理由で使いにくいものは、支援機関でフォローしていく仕組みづくりが必要ではないか